

《 J T A ジュニア憲章 》

この一球は絶対無二の一球なり されば身心を挙げて一打すべし

この一球一打に技を磨き體力を鍛へ精神力を養ふべきなり

この一打に今の自己を發揮すべし これを庭球する心といふ

福田 雅之助

1 テニスに親しむ

心身ともにたくましく育つように、スポーツ心を身につけよう。

2 テニスを楽しむ

全国の仲間とコミュニケーションを図り、テニスの輪を広げよう。

3 テニスを理解する

ルールを理解し、正しいマナーと思いやりの気持ちを養おう。

4 テニスで競う

育成・強化を通じて、お互いに競い合い、理想を追求しよう。

(財)日本テニス協会は、地域テニス協会、都府県テニス協会や全国の指導者、保護者と連携し、将来の日本を担う子供たちが、健全で活力あるスポーツ活動を行うことを願い、J T Aジュニア憲章を制定する。

制定 2006年2月2日



伸びる選手の条件

選手自ら、考え、行動することで「人間力」を養おう！

1. 夢(目標)を持ち続けている

- ・願望を持ち、その炎を燃やし続ければ、可能性は限りなく広がる。
- ・未来の自分のあり方は、現在の自分が鍵を握っている。
- ・夢があれば苦労も苦労でなくなる。(小出義雄監督談)

2. 負けず嫌いである

- ・何でもいい、一番になる(技術、体力、走力、戦略、度胸・・・・)
- ・ライバルを探せ、それに負けるな。
- ・あきらめるな！(他に方法がないか?) 粘れ！(まだ答えは出ていない)

3. 考える力「ストーリー・プラン」がある

- ・うまくなるために何をどうすればいいのか?(疑問)
- ・知識と情報を集め、いつでも出せるように整理しておく→(知恵)
- ・PLAN →DO →CHECK (目的意識→実践意識→確認意識)

4. 感じる力「つながり」を理解できる

- ・学んだことを体で感じて理解する。
- ・自分に必要なこと(フィジカル、メンタル面)を知る。
- ・相手が読める→(読むトレーニング=セオリーを熟知しておく)

5. 継続する力を持っている

- ・できないのではなく、やらなかっただけ?
- ・習慣づける (1日20分は これ をする×一生=習慣)
- ・自己成長

6. 傲慢と謙虚のバランス

- ・表の傲慢=自信が過信に変わった時 (こんなはずじゃ・・・・→あせりになる)
- ・裏の傲慢=わがまま、結果を考えビビる。
- ・試合では、謙虚さ(恥ずかしさ)を出すな。

7. 何事にも感謝の心が持てる

指導者に、両親や兄弟に、チームメイトに、関わるすべての人々に

自分の用具に、コートに

そして今、コートに立って練習や試合ができることの喜びに。



LYNNE CARBON



AEROSKIN



GECKO-TAC

BIOMIMETIC

INSPIRED BY NATURE PERFECTED BY DUNLOP

生命体のメカニズムを生命体が使う。

新競技系「バイオミメティック・シリーズ」



AEROSKIN



GECKO-TAC



LYNNE CARBON

DUNLOP